

会議録

担当	主査	主幹	副教育長 兼課長	教育長
栗原 中尾		栗原	粕谷	矢部

会議名	山ヶ谷戸地区における統合小学校の通学区域編成に関する説明会
開催日時	平成29年1月17日(火)午後7時05分から8時20分まで
場所	山ヶ谷戸集落センター
参加者	16人
議題	通学区域について 通学区域審議会に対する諮問内容について
出席者	副教育長兼教育総務課長 粕谷克己 学校統合推進室長 坪内嘉夫 学校統合推進室 主査 中尾理恵
配布資料	別添のとおり 回覧 「統合協議会だより第4号」 諮問書 「小学校統合に伴う新設小学校の通学区域の編成について」 地図 「山ヶ谷戸字六郎等付近図」 資料 「山ヶ谷戸字六郎地区等における就学児童数・未就学児童数」

説明会の内容・概要

1 開会 矢部弘志氏

挨拶：関口代表区長、小林副PTA会長

2 説明 副教育長兼教育総務課長 粕谷

3 意見交換

(六郎地区保護者)

国の遠距離通学支援の基準が4kmという説明だが、自宅は、八ツ保小から3km少しの所に在る。この場合、スクールバスは利用できるのか？

(教育総務課)

つばさ南小学校とつばさ北小学校の開校に伴い、三保谷小学校と出丸小学校の通学区を一緒にし、また八ツ保小学校と小見野小学校の通学区を一緒にすることについては、地域でも町議会でもご理解いただいていると思います。また、統合協議会では、学校の統廃合によって、学校がなくなる出丸・小見野地区の児童について、スクールバスにより通学支援することとしており、このことについては、町議会にご理解いただいております。

しかしながら、今回の学校統合の対象地区外にも、中山地区には長楽地区、伊草地区には角泉地区といった、六郎地区と同様、学校から3kmを超える距離の地域

があります。このような、今回の学校統合の対象外の地域における通学支援については、町議会でも質問がありましたが、さらに将来の学校統合の際に検討したいということでご理解いただいております。

しかしながら、これまで行ってきた学校規模適正化に関する説明会などでは、六郎地区について何らかの通学支援を検討すべきという声がありましたので、今日、地域の皆さまのご意見を伺いに来ました。平成30年度の統合小学校の開校に伴い、八ッ保地区においてはスクールバスは運行されないものの、出丸地区からつばさ南小学校へスクールバスの運行体制を整備していることから、六郎地区等について、つばさ南小学校の通学区域に編成したり、あるいはつばさ北小学校の通学区域にありながらも、つばさ南小学校への就学を認める制度もあることから、児童をつばさ南小学校へ通学させることについて、皆さまの意見を伺いたいと思います。

なお、学校の変更については、事前に校長先生からお話を伺っておりますが、現在、八ッ保小学校に通っている児童については、学校が変わると、心理面で影響が大きいので、変更は望ましくないとのことでした。

(地域保護者)

六郎地区の子どもがスクールバスに乗れるとすると、自宅は六郎地区から時間で10分程度、距離で300メートルほどしか離れていない。もし、八ッ保小学校にバスが走るのであればそのルートにある児童をバスに乗せて欲しい。乗れないとなると、子どもの気持ちは複雑だと思う。

(教育総務課)

平成30年度から統合小学校に通学するに際しスクールバスを運行しますが、原則、出丸地区と小見野地区の児童を対象としています。このことから、八ッ保地区の児童は対象とされません。しかしながら、さらに将来の学校統合に際して、それ以外の地域の児童の通学支援を検討することにしたいと考えております。

(六郎地区H33年入学予定のご家族)

子どもの両親の代理で祖母である私が出席した。長男のときは、3.7kmの距離を歩いて八ッ保小学校へ通わせていた。しかし、平成33年度に入学する予定の孫は女の子であり、この距離を一人で歩かせるのは、大変不安に思っている。国のスクールバスの基準が4kmとのことであるが、安全面を考慮していただきスクールバスの乗れるように配慮して欲しい。

(教育総務課)

現在、出丸地区から、つばさ南小学校へ向かうスクールバスは、六郎地区に近い所をルートとして検討しております。このことから、つばさ南小学校に指定校変更

していただければ、スクールバスに乗って、つばさ南小学校に通っていただくことが可能ではないかと考えています。通学上の安全面など考慮しますと、このような手段が考えられます。

(六郎地区H33年入学予定のご家族)

どちらの学校でも、教育を受けられればよいと思う。地区がどうということではなく、とにかく通学上の安全面を配慮することが大切だ。

(地域住民)

ところで、小見野地区でも八ツ保小学校に近い地域の児童は、スクールバスで通うことになるのか？

(教育総務課)

統合協議会の中では、八ツ保小学校に近い東大塚地区及び鳥羽井地区の一部においては、徒歩で通うこととしております。

(六郎地区保護者)

地域との付き合いを考えると、スクールバスに乗れるとしても、三保谷小学校に子どもを通わせたくない。スクールバスに乗って八ツ保小学校に通うことはできないのか？

(地域住民)

スクールバスに乗れるのは、出丸地区と小見野地区の児童ということだが、六郎地区の児童がスクールバスに乗るには、指定校変更するしかないということか？現在、小学校に通っている児童だけでなく、今後入学する児童をどうするか？

(六郎地区保護者)

現在、通っている児童もスクールバスに乗るには、指定校変更しかないのか？

(六郎地区H33年入学予定のご家族)

通学で大事なものは、距離の問題だけでない。通学班が編成できないために一人で通学しなければならないということだ。安全面を考慮して欲しい。

(教育総務課)

特に、これから入学する児童の対応について、意見をいただきに伺いました。いただいた意見を持ち帰り審議会に報告するとともに検討させていただきます。

(六郎地区保護者)

住んでいる場所は、八ッ保小学校よりも出丸小学校や三保谷小学校の方が近いが、古くからの地区意識があるので八ッ保小学校に通ってきた。そういうことで、三保谷小学校の通学区域に変更するつもりはない。

(地域住民)

山ヶ谷戸地区の子ども達は、山ヶ谷戸集会所からスクールバスを出して、八ッ保小学校に通えるように検討して欲しい。

(教育総務課)

平成30年度から、川島中学校とつばさ南小学校、つばさ北小学校との間で、小中一貫教育の取り組みを進めることとしております。そして34年度までの5年間で、どのような小中一貫校を作るのか結論を出すこととしています。また、これに併せ、つばさ南小学校、つばさ北小学校の統合も検討することになりますので、その際に、六郎地区における児童のスクールバス対応も考えることとなります。

今日、お預かりした意見は審議会ですっかり検討させていただきます。

4 その他 特になし。

5 閉会

作成者

教育総務課 学校統合推進室 中尾理恵

